

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 13 日作成)

小委員会名	地球環境時代における教育小委員会	主 査 名：宿谷 昌則 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境本委員会	委員長名：稲田 達夫 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、建物の使い手（居住者）が自発的に健康・快適で、しかも省エネルギー的な住環境創造を促し、延いては地球環境保全に対する認識を深められるような教育実践の方法を構築し、またそれを普及するためのネットワーク作りを目的とする。各年度の活動計画は次のとおり。</p> <p>2009 年度 ・地球環境時代における教育の実践事例収集と分析、・実践的プログラムの研究と開発、・地球環境時代における教育の情報ネットワークの構築と運営方法の検討、・セミナーの開催</p> <p>2010 年度 ・活動の取りまとめ、・地球環境時代における教育の実践事例収集と分析、・地球環境時代における教育の情報ネットワークを利用した継続的な教育実践プログラムの普及方法の検討</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>宿谷昌則（東京都市大学）、菅原正則（宮城教育大学）、高橋達（東海大学）、小澤紀美子（東海大学）、斉藤雅也（札幌市立大学）、妹尾理子（香川大学）、田中稲子（横浜国立大学）、谷口新（大妻女子大学）、西川竜二（秋田大学）、平石年弘（明石工業高等専門学校）、三浦秀一（東北芸術工科大学）、光田恵（大同工業大学）、村田昌樹（OM ソーラー）、吉野博（東北大学）、吉野泰子（日本大学）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	85,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/tkankyo/s1/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物（シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 環境省「学校エコ改修と環境教育」事業 全国会議勉強会 参加者数〇〇名 フィールド体験型分科会「エコ改修校舎の活用を考える」のファシリテータとして支援を行った。
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 地球環境時代における教育の実践事例収集と分析は、1 件に留まった。</p> <p>2. 情報ネットワークを利用した継続的な教育実践プログラムの普及方法の検討については、2006 年 1 月以降学会内に設置されているウェブサイトが連絡・広報用に活用されたほか、環境省「学校エコ改修と環境教育」事業を運営しているエコフローサポート本部との連携が行われた。</p> <p>3. 同事業の支援を行い、委員会活動の取りまとめとした。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. これまで収集した教育実践事例や教材をとりまとめて、学校教員や一般居住者に向けたセミナーを開催し、情報ネットワークの構築につなげたい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。